



R 8.8.28 うさぎきほいくえん

まだまだ暑い日が続いておりますが、少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。

夏遊びを通して、心も体も大きく成長した子どもたち。

9月も元気いっぱい楽しく過ごしていきたいと思います。



9月の行事

1日(火) 避難訓練

12日(土) 保育参観

30日(水) 合同礼拝・誕生会

3日(木) 英語

7日(月)・14日(月) スイミング

16日(水) 体操

17日(木)・24日(木) エアポリン



お知らせ

10月14日(水)・15日(木) “灘のけんかまつり”が開催されます。

当日は地域行事として参加される方も多く、園周辺道路も交通規制がありますので、

両日とも、**希望保育**とさせていただきますので、ご協力お願いします。

詳細については後日お知らせ、申込書もその時にお渡しします。

保育目標

報謝(ほうしゃ)

ありがとう

0.1歳児 すみれ・れんげぐみ

0歳児は「あー」「うー」と声を出したり、保育者とのやり取りを楽しんだりする姿が増えてきました。
1歳児はトイレに誘うと少しずつ座れるようになってきました。
一人ひとりのペースでできることが増え成長を感じています。

2歳児 たんぽぽぐみ

なりきりブームのたんぽぽぐみも子どもたち。クラスの友達と先生やお母さんになりきり、様々なごっこ遊びを楽しんでいます。
言葉数が増えてきておもしろいやりととりもきこえてきますよ♪

今月の子どもたち



3歳児 もも・ちゅうりっぷぐみ

お盆休みが終わって休み中の思い出をたくさんお話してくれる子どもたち。久しぶりの保育園に緊張した様子もありましたが、すぐに慣れ元気いっぱい遊んでいました！

5歳児 ひかり・ほしぐみ

鼓隊の練習も本格的に始まり、それぞれの楽器やカラーガードの練習に意欲的に取り組んでいます。
音楽が流れるとリズムを口ずさむ子どもチラホラ…！
みんなで頑張ろー！！

4歳児 ひまわり・こすもすぐみ

暑さに負けず毎日ご飯をたくさん食べて、給食の時間を楽しみにしている子どもたち。給食の時間にはこれまで使っていた補助箸から少しずつ普通のお箸へと移行しています。難しいと苦戦しながらも上手にお箸を動かそうと一生懸命取り組む姿に成長を感じます。

現況届の締め切りが近づいています。

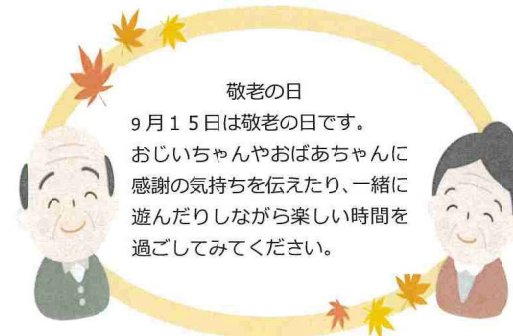
8月31日(月) 17時まで

※電子での手続きとなります。

敬老の日

9月15日は敬老の日です。

おじいちゃんやおばあちゃんに感謝の気持ちを伝えたり、一緒に遊んだりしながら楽しい時間を過ごしてみてください。



えんちょうせんせいのことば

「一緒に悲しんでくれることの存在」

皆さんは、自分の身に辛いこと、悲しいことが起きたとき、
どのように接してほしいですか？

「何も言わず、そっとそばにいてほしい」

「なぐさめてほしい」

「ゆっくり話を聞いてほしい」

多くの方がこのような思いを抱くことと思います。この話を進める前に・・・

7月末に熊本地方で大きな地震がありました。今なお余震が続いており、

1か月近く経過した今でも多くの方が避難生活を送られています。

私が心を痛めたのは、今回の震災で亡くなられた方の中に、災害関連死の認定を受けた方がおられたことです。

これは、直接、地震の被害にあわれたのではなくその後の避難生活の精神的ストレスや持病の悪化など間接的な原因で亡くなられた方がいるということです。

連日のテレビの報道では、苦しい避難所生活の中でもなんとか前を向こうと懸命に生活されている方が映されていました、

実際は多くの方が苦しんでおられることを改めて感じました。

そのような折、「一緒に悲しんでくれる存在との出会い」について、ある小冊子で述べられているのを見つけました。

その内容は、幼稚園の卒園児が、当時お世話になった先生へのお礼の手紙を紹介したものでした。

感情のコントロールがうまくできない園児に対し、担任の先生が無理やり抑え込むのではなく同じ目線に立って一緒に悲しんでくれたこと。その担任の先生の姿勢が、その園児にとって大きな希望の光になったということが書かれていました。

一緒に悲しんでくれる、傷跡を分かち合える存在に出遭えることは、何よりの救いになると私は思います。

被災された方、苦しんでおられる方は、その人にしか本当の痛みはわからないのかもしれない。

安易に、自分本位で「大丈夫ですよ、なんとかなりますよ」といった励ましの言葉をかけることは、場合によっては相手の負担になってしまうことも考えられます。

苦しんでいる人、悲しんでいる人、困っている人に対してその人に寄り添い、そして声を聴き続ける、これがまことの保育の源流だと考えさせられました。

今月も宜しくお願い致します。